

3月定例会
質疑

厳しい財政運営 どう再生していくか

3月定例会の質疑では、今後の復興への考え方や体制づくりなど、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部をご紹介します。



設置されたテーブルの窓口

座って手続きができる窓口を

門馬 まりえ議員

庁舎内のカウンター式の窓口は、障がいをもっている方などには立ったまま手続き等を行うため非常に負担となっています。対面で座って相談できるよう工夫はできませんか。

大和田総務課長

行政機構改革に伴い、出納室の方からご家庭課、次に健康福祉課の配置となる予定です。低いテーブルを出納室寄りに設置するというところで検討しています。

木造交流施設の使用目的等は

門馬 巧議員

駅西側にある木造交流施設の目的と建設費はいくらにかかったのか伺います。

松本復興企画課長

コミュニティを持つ場がほしいとの要望があり、町民が交流できる施設を造りました。29年度に何か活動ができるよう検討しています。建設費は町単独で500万円近い金額です。

新たな団地の行政区割り当ては

渡邊正俊議員

広野原団地や大平未来団地などの行政区の割り当ては、今までの行政区に参入するようになるのか、新たに一つの行政区となるのか、どのように考えていますか。

大和田総務課長

各団地については、新たな行政区長と相談しながら方針を決定したいと考えています。

反対 阿部 憲一
展開する事業に対して疑念を感じる

阿部憲一議員 道の駅の整備は交付金の見通しが立っておらず、放射線健康相談のアドバイザーは考え方が安全・安心に偏した人物が続けており、ふくしま駅伝は吸引被曝の対策がないため、反対するものです。

討論の結果

7対1で可決

平成29年度一般会計予算

賛成

塩 史子 門馬まりえ
渡邊 正俊 遠藤 浩
門馬 巧 北郷 伯弘
北郷 幹夫

重要な事業に対する予算編成をしている

渡邊正俊議員 町民に直結した民生費、衛生費、帰還に向けたインフラ整備に対しての改良費、それらを重点的に編成され、概ねしっかりとした予算組みがなされています。



平成29年度一般会計予算の起立での採決（※6番 小磯利雄議員はインフルエンザにより欠席）

平成28年度 最終補正

総額3億3142万円を減額

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	▲2億2061万円	123億9026万円	
特別会計	国民健康保険	▲3182万円	11億3614万円
	土地開発事業	▲252万円	3億5057万円
	公共下水道事業	▲36万円	2億9556万円
	介護保険	▲7107万円	4億9628万円
	後期高齢者医療	▲504万円	1890万円

※金額は全て千円未満を切り捨てて表示しています

今回の補正は、主に予算確定等による最終調整と災害等廃棄物処理事業における本年度分の事業量の確定等による減額でした。